

コンセプチュアルマネジメント 講座

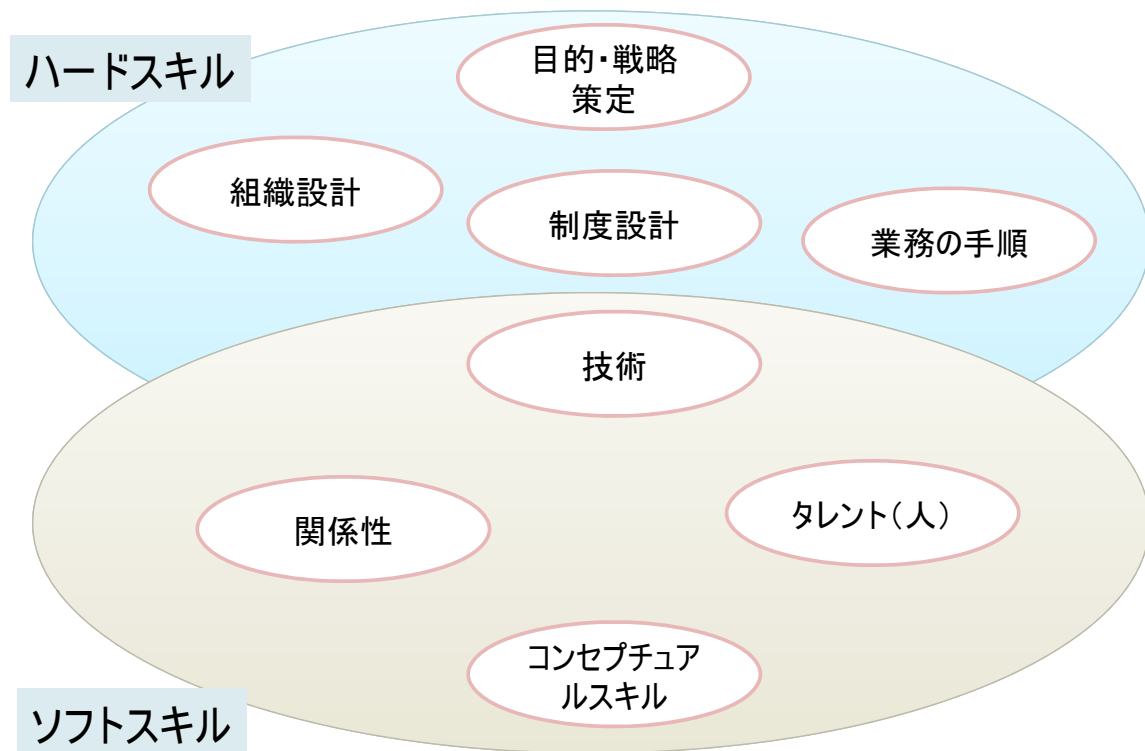
株式会社プロジェクトマネジメントオフィス



コンセプチュアルマネジメント講座 コンセプト

- ・ 背景
 - マネジメントがうまく行かない原因にマネジャーのコンセプチュアルスキルの低さがある
 - 組織や人材の生産性、創造性、多様性を高めるためにはコンセプチュアルなアプローチが不可欠である(図1)
- ・ 目的
 - コンセプチュアルなアプローチによってマネジメントを革新する
- ・ ターゲット
 - 管理者層、監督者層(図2)
- ・ アプローチ
 - PMstyleのコンセプチュアル思考を基本にしたコンセプチュアルスキルを活用したマネジメントを行うことより、創造的&生産的&多様な時代にあったマネジメントを行うためのスキルを身につける。
- ・ 主要テーマ(図3)
 - 創造性を高めるマネジメント
 - 生産性を高めるマネジメント
 - 多様性を高めるマネジメント
 - プロジェクトの実施

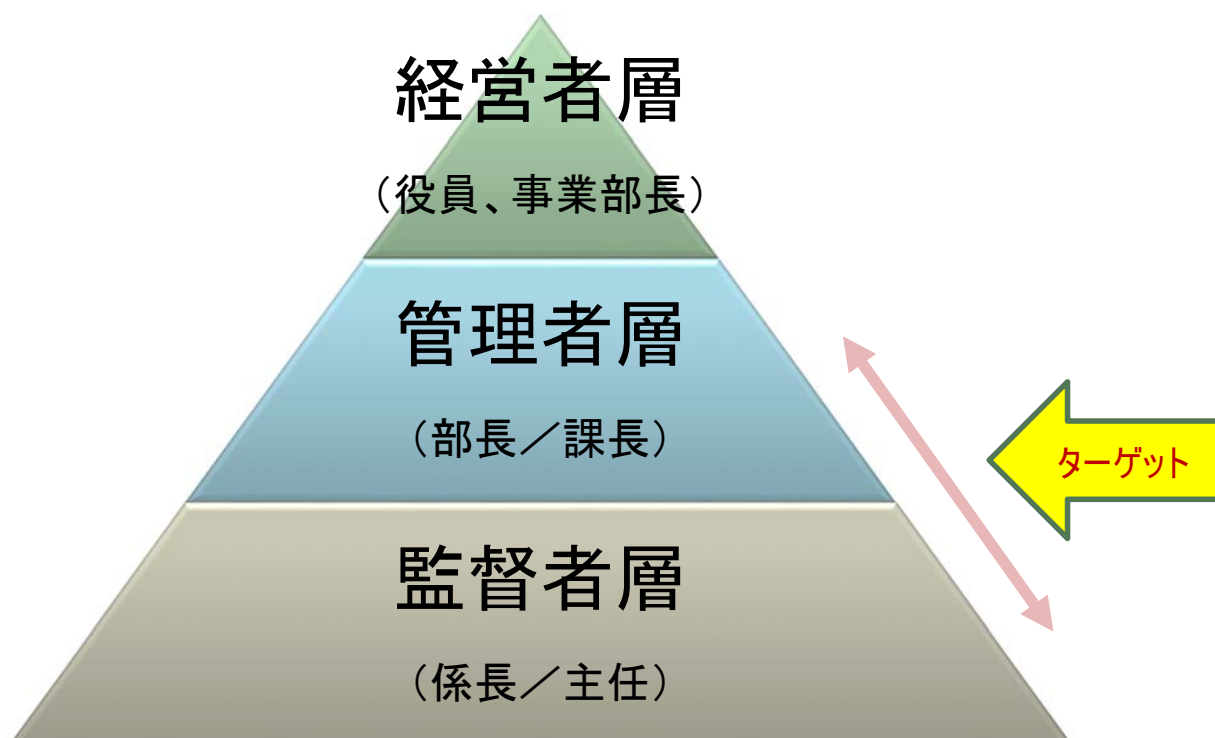
図1：組織のマネジメント課題の根源にあるスキル



©PMstyle2018

3

図2：マネジメント階層とターゲット



©PMstyle2018

4

図3：コンセプチュアルマネジメント講座の構成

【1：概論】コンセプチュアルな組織を創るマネジメント

【2-1】コンセプチュアル思考でイノベーションを起こす	【2-2】コンセプチュアル思考でダイバーシティを高める	【2-3】コンセプチュアル思考で生産性を向上させる	【2-4】コンセプチュアル思考でプロジェクトを動かす
【3：思考】コンセプチュアル思考			

©PMstyle2018

5

【1：概論】コンセプチュアルな組織を創るマネジメント 狙いと特徴

狙い コンセプチュアルマネジメントのコツを掴む

- ・ マネジメントの主要活動のコンセプチュアル思考の有効性を実感する
- ・ コンセプチュアル思考によりマネジメントを変革する基本的な原理を把握する
- ・ マネジメント活動の本質を洞察し、実情にあった方法で具体化する発想を身につける

特徴 コンセプチュアル思考を使って考える

- ・ ミドルマネジャーが自身のマネジメント業務の質を向上させる方法を提供する
- ・ コンセプチュアル思考を前提として、効果がある視点からのマネジメント変革を考える

効果 マネジメントレベルの向上

- ・ マネジメント業務の質がよくなり、マネジメントの有効性が高まる。
- ・ 働き方を変えていくための起点となるマネジメントをイメージできるようになる。

公開講座 2018年 11月 15日(木)

- ・ 詳細・お申込 http://pmstyle.biz/smn/conceptual_management.htm

©PMstyle2018

6

【1: 概論】コンセプチュアルな組織を創るマネジメントプログラム(1日間)

- ・ 1. コンセプチュアルではない組織の問題点
 - ・ 個人レベルの問題点
 - ・ チームレベルの問題点
 - ・ 組織レベルの問題点
- ・ 2. コンセプチュアルなマネジメントのポイント
 - ・ 2.1 質問型の組織を創る
 - ・ 2.2 コンセプチュアルな組織活動のプランニング
 - ・ 2.3 ステークホルダーへのコンセプチュアルな対応
 - ・ 2.4 コンセプチュアルな人材育成
 - ・ 2.5 コンセプチュアルな組織文化の構築
- ・ 3. コンセプチュアルなマネジメントの効果
 - ・ 3.1 顧客を理解する
 - ・ 3.2 生産性を上げるマネジメント
 - ・ 3.3 組織のダイバーシティを高める
 - ・ 3.4 イノベーションを起こす
 - ・ 3.5 プロジェクトを成功させる
- ・ 4. コンセプチュアルマネジメントでコンセプチュアルな組織を創る仕組みワークショップ

©PMstyle2018

7

【1: 概論】コンセプチュアルな組織を創るマネジメントオプションプログラム(2日間:研修のみ対応)

- ・ 1. コンセプチュアルではないマネジメントの問題点
 - 収益が上がらない／生産性が上がらない／変革ができない／プロジェクトがうまく行かない
- ・ 2. コンセプチュアルなマネジメントのポイント
 - 2.1 コンセプチュアルな意思決定
 - ・ コンセプチュアルなプランの策定
 - 目的を明確にする／目標を設定する
 - ・ コンセプチュアルな意思決定
 - ・ コンセプチュアル思考によるプランと実行の一体化
 - 2.2 コンセプチュアルなマーケティング
 - ・ 顧客のニーズを解明し、顧客価値を生み出す
 - ・ 顧客が真に求める商品やサービスを作り、その情報を届け、顧客がその価値を効果的に得られるようにする
 - 2.3 コンセプチュアルな人材を育てる
 - ・ コンセプチュアルな人材を育成し、活用する(管理と育成)
 - ・ コンセプチュアルな組織を創る
 - ・ 評価
- 2.4 ダイバーシティのマネジメント
 - ・ コンセプチュアルなチームを創る
 - ・ ダイバーシティの高い組織を創る
 - ・ コンセプチュアルな視点で問題に対応する
- 2.5 ステークホルダーをマネジメントする
 - ・ 上司、経営者
 - ・ メンバー
 - ・ 関連部門
- 2.6 変革プロジェクトをコンセプチュアルにマネジメントする
 - ・ オペレーションマネジメントの本質
 - ・ プロジェクトマネジメントをコンセプチュアルに
- ・ 3. コンセプチュアル思考のマネジメント適用の原則

©PMstyle2018

8

【2-1】コンセプチュアル思考でイノベーションを起こす 狙いと特徴

狙い イノベーションを起こす思考を身につける

- ・ イノベーションにおける本質(価値)の役割を理解する
- ・ コンセプチュアル思考を使ったイノベーションの進め方を理解する
- ・ コンセプチュアル思考を使ったイノベーションのプロセスを体験する

特徴 コンセプチュアルにイノベーションを捉える

- ・ コンセプチュアル思考で本質を見極め、イノベーションに結び付けていく
- ・ コンセプチュアルなイノベーション活動のイメージを創る

効果 イノベーションを生み出す確率を向上させる

- ・ イノベーションの創出のイメージが明確になる。
- ・ 商品イノベーションに限らず、業務の進め方のイノベーションもイメージできるようになる

公開講座 2019年 01月 22日(火)

- ・ 詳細・お申込 http://pmstyle.biz/smn/conceptual_innovation.htm

【2-1】コンセプチュアル思考でイノベーションを起こす プログラム(1日間)

- ・ 1. 変革(イノベーション)におけるコンセプチュアル思考の役割
 - コンセプチュアル思考でイノベーションのニーズを見極める
 - コンセプト創造とコンセプト実現
 - ジョブ理論とコンセプチュアル思考
- ・ 2. イノベーションにおけるコンセプチュアル思考の活用例
 - 直観と論理の軸の活用例
 - 大局と分析軸の活用例
 - 抽象と具象軸の活用例
- ・ 3. コンセプチュアル思考によるイノベーションプロセス
 - 3. 1 要求/アイデア/ジョブ/を概念化し、価値(本質)の概念モデル(コンセプト)を作る
 - 3. 2 概念モデルのさまざまな実現方法を考える
 - 3. 3. 実現方法を評価する
- ・ 4. イノベーションプロジェクトのプロジェクトの進め方
 - イノベーションのニーズを見極める
 - イノベーション機会を作る
 - イノベーションを実行する
- ・ 5. コンセプチュアルイノベーションワークショップ

【2-2】コンセプチュアル思考でダイバーシティを高める 狙いと特徴

狙い

ダイバーシティーマネジメントを習得する

- ・ ダイバーシティーにおける本質(価値)の役割を理解する
- ・ コンセプチュアル思考を使ったダイバーシティーマネジメントの進め方を理解する
- ・ ダイバーシティーマネジメントを統合マネジメントとしてポイントを掴む

特徴

コンセプチュアルなダイバーシティーマネジメント手法

- ・ コンセプチュアル思考で本質を見極め、ダイバーシティーに結び付けていく
- ・ コンセプチュアル思考により、ダイバーシティーを高める現実的な仕組みを作ってみる

効果

実践的ダイバーシティーマネジメントの知見習得

- ・ ダイバーシティーマネジメントのイメージが明確になり、実践できるようになる。
- ・ ダイバーシティーマネジメントをコンセプチュアルマネジメントに生かす方法に気づく

公開講座

2019年 02月 13日(水)

- ・ 詳細・お申込 http://pmstyle.biz/smn/conceptual_diversity.htm

【2-2】コンセプチュアル思考でダイバーシティを高める プログラム(1日間)

- ・ 1. ダイバーシティーマネジメントにおけるコンセプチュアル思考の役割
 - ダイバーシティーの実現ステップ
 - コンセプチュアル思考で相手の考えの本質を読み取る
 - コンセプチュアルスキルで統合マネジメントを行う
- ・ 2. ダイバーシティーマネジメントにおけるコンセプチュアル思考の活用例
 - ステークホルダーコミュニケーション
 - ビジョン共有
 - プロジェクトコミュニケーション
- ・ 3. コンセプチュアル思考によるダイバーシティーマネジメントプロセス
 - 3.1 本質を見抜く
 - 3.2 本質を共有する
 - 3.3 本質と現実を行き来する
 - 3.4 価値観を共有する
- ・ 4. ダイバーシティーマネジメントのポイント
 - 「価値観」で統合を図るコミュニケーションと意思決定の仕組みづくり
 - 混乱や衝突に対応できる仕組みづくり
- ・ 5. ダイバーシティーマネジメントワークショップ
 - ・ 自社の課題を読み解く
 - ・ コンセプチュアル思考で対応策を考える
 - ・ 対応策を実現する仕組みを考える

【2-3】コンセプチュアル思考で生産性を向上させる 狙いと特徴

狙い 生産性を高めるポイントをコツを身につける

- ・ 生産性と効率性の違いを理解する
- ・ コンセプチュアル思考を使った生産性向上の進め方を理解する
- ・ コンセプチュアル思考を使った生産性向上のプロセスを体験する

特徴 コンセプチュアル思考による生産性の向上

- ・ コンセプチュアル思考で問題の本質を見極め、生産性を向上する方法を探す
- ・ イノベーションによる生産性向上のイメージを把握する

効果 生産性の向上によるマネジメントレベルの改善

- ・ 効果的な生産性の向上の方法が理解できる。
- ・ 生産性の問題を様々な視点から見て、戦略的なアプローチを選ぶことができる

公開講座 2019年 03月 25日(月)

- ・ 詳細・お申込 http://pmstyle.biz/smn/conceptual_productivity.htm

【2-3】コンセプチュアル思考で生産性を向上させる プログラム(1日間)

- ・ 1. 生産性とは
 - ・ 効率化と生産性の違い
 - ・ 効率性追求の限界
 - ・ 生産性向上の要因
- ・ 2. 生産性が低い理由
 - ・ プロセスの問題
 - ・ 付加価値の問題
 - ・ メンバーのモチベーションとスキルの問題
 - ・ プロジェクトマネジメントの問題
- ・ 3. 生産性を向上させる方法
 - ・ スキルアップ(個人)
 - ・ イノベーション(チーム)
 - ・ 新規事業への参入(組織)
- ・ 4. コンセプチュアル思考で生産性を向上させるマネジメント
 - ・ コンセプトはより少ない人数でより大きな価値を生み出す
 - ・ 生産性の目標設定と進捗管理
 - ・ 生産性の徹底的な追求
 - ・ コアプロセスの改善(効率化)と革新(生産性向上)
 - ・ プロダクトイノベーションの追求
 - ・ コミュニケーションマネジメント
 - ・ 振り返りとナレッジマネジメント
 - ・ コンセプチュアルな人材の育成(コンセプチュアルな組織づくり)
- ・ 5. コンセプチュアルマネジメントワークショップ
 - ・ 「生産性向上プロジェクト(仮称)」のプロジェクトプランの作成な問題の見極め

【2-4】コンセプチュアル思考でプロジェクトを動かす～コンセプチュアルプロジェクトマネジメント(2日間) 狙いと特徴

狙い プロジェクトマネジメントの質を向上する

- ・コンセプトから本質的な要求を見極め、実現する方法を学ぶ
- ・プロジェクトの目的を実現する計画を策定し、実施する方法を学ぶ
- ・コンセプトへ成果を統合するマネジメントについて学ぶ

特徴 プロジェクトの目的を重視した手法

- ・プロジェクトのコンセプトから、プロジェクトや目的の本質を抽出し、PMBOK(R)のプロジェクトマネジメントを適用したプロジェクトマネジメントを実施する流れを基本とする
- ・プロジェクトマネジメントのみを学ぶ1日版、コンセプチュアルスキルを併せて学ぶ2日版あり

効果 成果を最大化するマネジメントを身につける

- ・プロジェクトで得られる成果が大きくなる
- ・コンセプチュアルプロジェクトマネジメントのポイントを理解し、一般的なプロジェクトマネジメントと組み合わせ活用できるようになる
- ・プロジェクトマネジメントが創造的、かつ、高品質になる

公開講座 2018年09月27日(木)～09月28日(金)

- ・詳細・お申込: http://pmstyle.biz/smn/conceptual_pm.htm

【2-4】コンセプチュアル思考でプロジェクトを動かす～コンセプチュアルプロジェクトマネジメント(2日間) プログラム

- 概念的に考えて、具体的な行動をする
 - ・なぜコンセプチュアルに考えるのか
 - ・「本質」の果たす重要な役割
 - ・本質を洞察する
 - ・本質を見極めるコンセプチュアル思考
- 本質を見極めるスキル
 - ・概念的に捉える
 - ・構造的に捉える
 - ・直観的に捉える
- 顧客の要求の本質を見極める
 - ・顧客の課題を理解する
 - ・要求の分析と本質の洞察
- コンセプトを創る
 - ・プロジェクトにおけるコンセプトの重要性
 - ・顧客要求からプロジェクトのコンセプトを創る
 - ・コンセプチュアル思考を使ったコンセプト創造方法
- コンセプトを実現する目的と目標の決定
 - ・市場や顧客、経営、チームの目的を統合し、成果を最大化する
 - ・重要なステークホルダーを巻き込む
- 要求の本質を見抜いたスコープ定義
 - ・プロジェクトへの要求の本質を分析し、理解する
 - ・理解に基づき、期待を上回る提案をする
- 本質的な目標を優先する計画
 - ・プロジェクトの本質にかかわる目標を明確にし、達成する計画をする
 - ・目標を達成する方法を明確にしたマネジメント計画を策定する
- プロジェクトマネジメント計画を活用した柔軟なプロジェクト運営
 - ・マネジメント計画に則り柔軟な作業を行う
- 本質的な問題解決
 - ・トラブル現象にとらわれず、本質的な問題を見極め、解決する
- 経験を活かしてプロジェクトを成功させる
 - ・経験を他のプロジェクトに活かす

【3:思考】コンセプチュアルスキルの基本 狙いと特徴

狙い コンセプチュアルなスキルを身につける

- ・ 構想、計画、問題解決、意思決定などのコンセプチュアルスキルに必須であるコンセプチュアルな思考を身につける
- ・ 洞察力、応用力などを基盤にしたコンセプチュアルスキルを強化する

特徴 コンセプチュアルな思考の5つの軸で考える

- ・ コンセプチュアルスキル入門とコンセプチュアル思考を統合した講座で、加えてコンセプチュアルスキルの応用方法が分かる。

効果 コンセプチュアルスキルの強化

- ・ コンセプチュアルスキルに対する明確なイメージができる
- ・ コンセプチュアルスキルが強化され、また、継続的向上させる方法が分かる

公開講座 東京:9月11日(火)~12日(水)、大阪:2019年 2月18日(月)~19日(火)

- ・ 詳細・お申込: http://pmstyle.biz/smn/conceptual_practice.htm

【3:思考】コンセプチュアルスキルの基本 プログラム(2日間)

- ・ 1. 本質を洞察し、応用する
- ・ 2. 本質を見極めるスキル
- ・ 3. コンセプチュアルに考える5つの思考
- ・ 4. 洞察力を高める
- ・ 5. 応用力を高める
- ・ 6. 思考をコンセプチュアルにするツール
- ・ 7. コンセプチュアルが行動を変える